

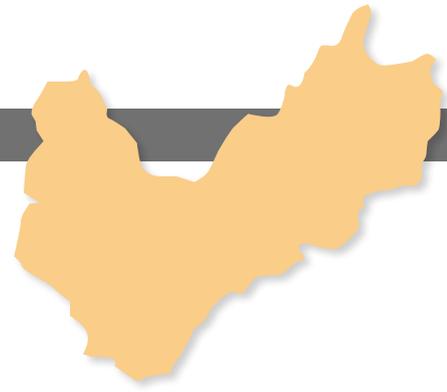


宮崎県

みまた

よい人、よい町、よい政治。議員が編集した手づくり広報紙

こんにちは 議会です。



no.77

平成26年11月15日号
発行/三股町議会



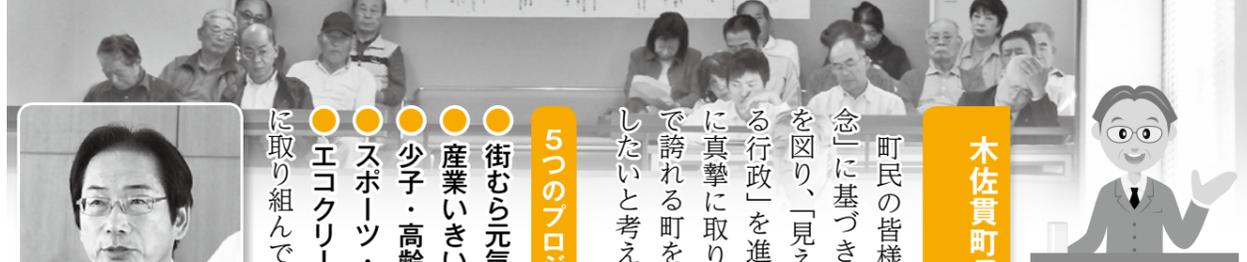
表紙写真：三股小学校運動会

TOPICS
トピックス

- 9月定例会(9月29日～10月17日) ■ 町政を問う 一般質問(8名)
- シリーズ お隣さん元気(大野・大八重)

再度の動議で、議会大荒れ!!

町長 2期目も、町民の皆様との「協働の理念」に基づき元気で誇れる町を目指す。



9月定例会

町議会では9月議会を、9月29日から10月17日までの19日間で開催した。今回の議会に上程された議案は28議案、請願2件、意見書2件、報告3件で、各常任委員会にそれぞれ議案を付託し、審議した。議案の主なものは、専決処分した条例改正1議案、平成25年度三股町一般会計歳入歳出決算の認定1議案、特別会計歳入歳出の認定7議案、平成25年度公共下水道剰余金の処分及び認定1議案、条例の制定及び改正7議案、平成26年度補正予算8議案、委員の任命2議案、他1議案となつている。各議案は賛成多数及び全会一致で可決した。

木佐貫町長二期目 所信表明

町民の皆様との「協働の理念」に基づき、情報の共有化を図り、「見える行政」、「伝わる行政」を進め、多くの課題に真摯に取り組み、更に元気で誇れる町を目指してまい進したいと考えています。

5つのプロジェクト

- 街むら元氣わいわい
- 産業いきいき
- 少子・高齢化すくすく
- スポーツ・文化わくわく
- エコクリーンさわやかに取り組んでいきます。



▲木佐貫町長

平成26年度 一般会計補正予算

- 歳入の主なもの
- 番号制度構築事業補助金 199万円
 - 安心子ども基金補助金 4,342万円
 - 伐採木売却収入 142万円
 - 公共施設等整備基金繰入金 4,000万円
 - 前年度繰越金 23,946万円

【町債】

- 防災行政無線整備事業 3,000万円
- 三股西小校舎屋根整備事業 3,480万円
- 歳出の主なもの
- 保育園施設整備事業補助金 4,884万円
- クリーンセンター整備事業 委託料 532万円
- 三股西小防災機能強化事業 7,555万円
- 西部地区体育館駐車場用地購入費 1,432万円

平成26年度 特別会計補正予算

- 国民健康保険
- 後期高齢者医療保険
- 介護保険
- 介護保険サービス事業
- 梶山地区農業集落排水事業
- 宮村南部地区農業集落排水事業

条例の制定

- 三股町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例
- 三股町家庭的保育事業等の整備及び運営に関する基準を定める条例

▼全会一致で可決

- 三股町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例 他2件

平成25年度 一般会計決算

平成25年度一般会計、特別会計の決算について審議が行なわれた。一般会計の歳入歳出決算総額は98億464万円、歳出総額は95億3,940万円。事業の主なものは左記のとおりです。



保育所運営事業 10億1,235万円



児童手当給付事業 5億3,793万円



障がい福祉サービス事業 4億846万円



都城地域健康医療ゾーン整備事業 1億5,220万円



ごみ処理施設負担金事業 4億8,062万円



道路維持補修事業(緊急経済対策) 3億3,605万円

平成25年度 特別会計決算

- 国民健康保険
- 後期高齢者医療保険
- 介護保険
- 介護保険サービス事業
- 梶山地区農業集落排水事業
- 宮村南部地区農業集落排水事業
- 公共下水道事業
- 水道事業

請願

- 町民・県民の生命を守る避難計画すら作れない川内原発の再稼働に、反対を表明するよう求める請願

▼賛成少数 不採択

- 「特定秘密の保護に関する法律の廃止を求める意見書」の提出を求める請願

▼賛成少数 不採択

意見書

- 森林整備加速化・林業再生事業の継続を求める意見書
- 慎重な参議院選挙制度改革を求める意見書

▼採択

※内閣総理大臣他関係機関に送付

決算監査の報告

識見選出の谷山監査委員と議会議選出の池田監査委員は、平成25年度一般会計、特別会計それぞれの決算について監査を行った。その結果を意見書にまとめ、町長に提出し、議会初日に適正であるとの報告を行なった。



谷山代表監査員

人事案件

○教育委員会委員の任命

▼同意可決



屋敷和久氏 (新任)



今村一枝氏 (新任)

動議

- 議長不信任案
- ▼賛成多数で可決
- 懲罰動議
- ▼動議としてあたいせず。提案に至らず

7月臨時議会

平成26年7月22日開催

- 三股町公の施設の指定管理者における三股町議会の議員の兼業禁止に関する条例

▼全会一致で可決

動議

- やまびこ会調査特別委員会の設置
- ▼賛成多数で可決

※動議とは、会議の議事の進行の過程において、議会の意思決定を求めて議員から提起される議案以外のものである。

▶平成26年度三股町表彰式の様子



やまびこ会調査特別委員会 調査経費補正

▼賛成多数で可決

議員発議

- 特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正す条例
- 三股町条例の一部を改正する条例
- 三股町営住宅管理条例の一部を改正する条例
- ▼全会一致で可決

条例の改正

平成25年度決算 こんな事業に取り組みました!

ここが聞きたい

一般質問 上西 祐子 議員



質問 医療費無料化の拡大を公約されたがその時期と内容はどうか

町長 平成 27 年度から小学校卒業までの入院費無料化を行いたい

問 町長は、公約で子ども医療費無料化の拡大を言われたが、その時期と内容は、
町長 医療費無料化拡大について3月議会で質問があり、その時は小学生まで拡充する試算で、入院1、200万円、通院6、300万円、合計7、500万円程度が新たに必要となるのではないかと答弁した。小学生以上については、県からの補助がないので財源をどうするか協議中である。私としては27年度から6年生まで入院について無料化を拡大する方向で取り組み、子育てにやさしい町にしたい。

中心市街地の今後の構想は

問 町営住宅の統廃合で中心市街地の活性化を図るとあるが、その具体的構想と時期などは、
町長 中央地区については、空洞化の問題とともに老朽化が進んでいる五本松、射場前、榎堀団地の町営住宅の統廃合に取り組む。

まず、射場前、榎堀団地の敷地に塚原団地の様な住宅を建設し、そこに3つの入居者を集約し、最後に五



一般質問は、8人。町長の公約、子供の医療費無料化、子育て支援制度、全国学力テスト、西小学校校区、中心市街地の活性化、産業活性化、防災対策についてなど三股町が抱える様々な問題について白熱した議論が展開された。(一般質問は、8人であったが、本人の都合により7名の掲載となる。)

9月議会一般質問

堀内 義郎議員 9p 掲載
① 6次産業化の育成を推進せよ
② 医療費無料化の具体策は
③ 児童プールの利活用は

福永 廣文議員 10p 掲載
① 六地区に役場出張所の設置を
② 蓼池大原地区の道路整備は

指宿 秋廣議員 11p 掲載
① 住所表示の変更の検討は
② 保育料軽減の広報強化を
③ 町内に粗大可燃ごみの収集所を
④ 祭り用のポスターの公告収入は

大久保 義直議員
① AEDの配置及び使用指導
② 小・中学校の不登校について
※本人の都合により不掲載

上西 祐子議員 5p 掲載
① 医療費無料化の拡大を公約、時期と内容は
② 中心市街地の活性化を図る具体的な構想と時期
③ 子育て支援制度で保育園や保護者への影響は

池邊 美紀議員 6p 掲載
① 教育レベル向上の具体策は
② 町長の公約について
③ 障がい者雇用について

内村 立吉議員 7p 掲載
① 本町の台風状況について
② 和牛生産の戸数、頭数減少について
③ 全国学力テスト成績は

桑畑 浩三議員 8p 掲載
① 校区再編の検討は
② 五本松団地の整備計画は
③ 梶山城跡の購入は

問 本松団地を解体する。
町長 五本松団地の跡地利用については、役場内で協議中だが、まずは100世帯、200人以上の入居者の方々のご理解とご協力が最優先と考えている。

問 子育て支援制度で保育園はどうか変わるのか。影響、問題点は。
町長 中心部に近く、運動主要施設、図書館など文化施設にも近いので、2・1ヘクタールの敷地を今後有効活用して中心市街地の活性化を図りたい。

問 子育て新支援制度の影響は
町長 本松団地を解体する。五本松団地の跡地利用については、役場内で協議中だが、まずは100世帯、200人以上の入居者の方々のご理解とご協力が最優先と考えている。

問 新制度では、保育必要量認定の手続きが必要になるとあるが、どうということなのか。
福祉課長 保育所を希望する方は保育認定を受けてもらうが、11時間と

問 放課後児童クラブは定員40人となっているが、それ以上の所がある。どう考えているか
福祉課長 西小学校の学童保育のあり方を検討したい。



▲放課後児童クラブのようす

一般質問 内村 立吉 議員



質問

本町における台風対策の状況は

町長

町民の安心、安全に備えたい

問 今後の防災対策について。

町長 自治公民館の防災力を図る取り組み、消防団の確保育成が重要である。

総務課長 消防団の加入促進、処

問 高齢者、障害者に対しての避難指導の出し方について。

総務課長 避難勧告の基準に基づいて、消防団、福祉課と連携をとり、事前に呼びかけを行なっている。

問 本町における台風の被害と対策は。

町長 今年も、台風の影響で、自然災害、自然の猛威を思い知らされている。町民の安全、安心信頼に配慮するため、常在危機の覚悟で日頃から備えることが、重要である。

総務課長 台風について、元気の杜を避難所とし、第3、4、5、6地区に、避難準備情報を発令。4箇所の避難所を追加開設した。その後、第5地区に避難勧告を、発令した。尚、消防団の迅速な対応等により影響はなかった。

問 和牛生産の現状は

産業振興課長 和牛生産、戸数減・頭数減の原因は、20年前は550戸を超え、現在は約140戸。原因は後継者不足と高齢化によるものである。

問 宮田池の耐震化は

産業振興課長 現状では、問題はなく、補修の計画等は、考えていない。

問 池の耐震強化に対しての今後のも、この状態について問題はないか。

産業振興課長 現状では、問題はなく、補修の計画等は、考えていない。

問 障害者雇用の実施は

町長 メニューを精査中である。総合戦略というものは前向きにとらえていく。

町長 障害者雇用促進法にかかる事



▲障がい者の避難場所（元気の杜）

問 全国学力テスト成績は

教育長 本調査は、学力の一側面であり、学校、家庭、行政、地域が一体となって取り組んでいく。本町はその意味で、まとまりやすい地域であり、教育の成果を上げやすい地域ではないか。

問 全国学力成績の状況をどう思うか。

教育長 全体で、盛り上げていけば、教育の効果が上がり、すばらしい、文教の町にふさわしい町になるのではないか。

一般質問 池邊 美紀 議員



質問

教育レベル向上の具体策は

町長

教育長と共に熱意を持って進める

問 教育レベル向上の具体策は

教育長 全国学力テスト結果をどう評価し、文教のまちとして学力向上をどのように取り組むか。

教育長 テストの数字や順位に一喜一憂することなく、基本の部分を大事にとらえ、学力だけでなく総合的な教育を目指す。

問 学力向上を町長はどう考えているか。

町長 今回地域と一体となった取組みを指示し、夏休み子ども教室が始まった。県内トップクラスの教育環境は整っているの向上を期待している。

問 小学校での三股町内学力テストを実施してはどうか。

教育長 業者テストなどもあるが、校長会などで協議し検討する。

問 公約の産業活性化は

産業いきいきプロジェクト における雇用創出・所得向

問 新たな事業はないか。

町長 これまでの事業を着実に継続していく。

問 今回、国が進める地方創生本部の事業が地方飛躍のチャンスであるがどのように考えているか。

町長 メニューを精査中である。総合戦略というものは前向きにとらえていく。

問 障害者雇用の実施は

町長 障害者雇用促進法にかかる事



▲三股中学校の授業風景

問 三股町での経営者側の実状を考えると常勤というのは難しいが期間限定の雇用のニーズはあると思う。また時間給の補助はできないか。

町長 国の施策に則った形で進めていく。それで不十分ということであれば検討する。

要望 トライアル雇用の促進や時間給の補助は、障害者に優しいまちづくりにつながる事なので前向きに検討してほしい

業所は5社で法定雇用率を満たしている。

一般質問 堀内 義郎 議員



質問

6次産業化の育成を推進せよ

町長

産業として成り立つよう様々な支援をしていく

問 「ひらけごま大作戦」として日本一のごまの町を目指しているものの、施設がないため製油会社に流れ商品化できないと聞く。例えば、都城市や綾町では専門の部署を配置したり、交付要綱を定め、成の取り組みを行っているが、この

問 最近ごまの作付けが増えていくようだが、今回の台風での被害はどうだったか。

産業振興課長 生育が例年より早く台風が近づくと言うこともあり、はやめに刈り取ったので被害はなかった。

問 農業の振興策としてコンバイン等の購入助成はしている一方で、どぶろくやごま、ブルーベリーなどの6次産業が活発化し支援も必要としている。2期目を迎え、どう推進していくのか。

町長 6次産業化にはいい素材の発掘や加工に伴う創意工夫、販売や流通の確定などの様々な流れがある。そのため、部門における専門的な知識や経験が必要であり、今後も県やJA、商工会など関係機関と連携し様々な支援をしながら推進していく。

問 農産物の購入助成はしている一方で、どぶろくやごま、ブルーベリーなどの6次産業が活発化し支援も必要としている。2期目を迎え、どう推進していくのか。

町長 6次産業化にはいい素材の発掘や加工に伴う創意工夫、販売や流通の確定などの様々な流れがある。そのため、部門における専門的な知識や経験が必要であり、今後も県やJA、商工会など関係機関と連携し様々な支援をしながら推進していく。

問 老朽化した施設の統廃合を進めるとあるが、児童プールについての今後は。

福祉課長 昭和43年から55年度まで14ヶ所に年次的に整備された。現在は6ヶ所利用できるが、本年度利用のあったのは4ヶ所であった。

問 各地区における児童プールの現状と利用はどうなっているのか。

町長 平成27年度から小学校6年生までの入院について無料化を拡大したい。1,200万円程必要かと思うが、是非実施したい。

児童プールの利活用と今後は

問 医療費無料化を小学生まで拡大するにあたり具体的な施策は。

町長 平成27年度から小学校6年生までの入院について無料化を拡大したい。1,200万円程必要かと思うが、是非実施したい。

医療費無料化の具体策は

問 農産物の購入助成はしている一方で、どぶろくやごま、ブルーベリーなどの6次産業が活発化し支援も必要としている。2期目を迎え、どう推進していくのか。

町長 6次産業化にはいい素材の発掘や加工に伴う創意工夫、販売や流通の確定などの様々な流れがある。そのため、部門における専門的な知識や経験が必要であり、今後も県やJA、商工会など関係機関と連携し様々な支援をしながら推進していく。



▲老朽化した児童プール

問 修繕して利用したい地区や、校区見直しで再利用があるかもしれないが、今後どうするのか。

福祉課長 費用が300万円以上かかるため、まずは安全面を図り修繕しながら、来年には利用できるようにしたい。更に、校区見直しによって利用が増えればその時点で十分検討したい。

福祉課長 管理運営については地区の子供会で行っている。地区によっては監視体制が困難になってきている等のことから、他の地区と一緒に利用したいとの意見もあるのでその方向で考えている。

一般質問 桑畑 浩三 議員



質問

校区再編の検討は怎么样了

町長

通学区域審議会を立ちあげた

問 三股西小と三股小の校区を再検討することについて、現在はどうに検討されているか。

教育長 平成元年以来26年が経過し、三股小の児童は激減し、西小は開校当時より100名増。今後は更に増加が見込まれ普通教室が不足する予定である。さる9月18日に第1回三股町立学校通学区域審議会を開催し諮問したところである。

問 五本松団地の整備計画は、五本松・射場前・榎堀第4団地の統廃合事業という形で取り組みたい。今五本松におられる1000世帯、200名のご理解を得ながら団地の建て替え作業と居住者の転居作業を進めていきたい。榎堀第4、射場前、射場前第2団地の順番で建て替えを行い、全入居者の転居が終了した後に五本松団地を解体する予定である。今、アンケート調査に取り組んでいるが、多額の費用(13億円以上)と住民の理解が必要なことから、はっきりとした時期を示すことはできないが、計画的に取り組んでいきたい。

問 五本松団地を整備するため、五本松・射場前・榎堀第4団地の統廃合事業という形で取り組みたい。今五本松におられる1000世帯、200名のご理解を得ながら団地の建て替え作業と居住者の転居作業を進めていきたい。榎堀第4、射場前、射場前第2団地の順番で建て替えを行い、全入居者の転居が終了した後に五本松団地を解体する予定である。今、アンケート調査に取り組んでいるが、多額の費用(13億円以上)と住民の理解が必要なことから、はっきりとした時期を示すことはできないが、計画的に取り組んでいきたい。

問 五本松団地を整備するため、五本松・射場前・榎堀第4団地の統廃合事業という形で取り組みたい。今五本松におられる1000世帯、200名のご理解を得ながら団地の建て替え作業と居住者の転居作業を進めていきたい。榎堀第4、射場前、射場前第2団地の順番で建て替えを行い、全入居者の転居が終了した後に五本松団地を解体する予定である。今、アンケート調査に取り組んでいるが、多額の費用(13億円以上)と住民の理解が必要なことから、はっきりとした時期を示すことはできないが、計画的に取り組んでいきたい。

問 五本松団地を整備するため、五本松・射場前・榎堀第4団地の統廃合事業という形で取り組みたい。今五本松におられる1000世帯、200名のご理解を得ながら団地の建て替え作業と居住者の転居作業を進めていきたい。榎堀第4、射場前、射場前第2団地の順番で建て替えを行い、全入居者の転居が終了した後に五本松団地を解体する予定である。今、アンケート調査に取り組んでいるが、多額の費用(13億円以上)と住民の理解が必要なことから、はっきりとした時期を示すことはできないが、計画的に取り組んでいきたい。

問 五本松団地を整備するため、五本松・射場前・榎堀第4団地の統廃合事業という形で取り組みたい。今五本松におられる1000世帯、200名のご理解を得ながら団地の建て替え作業と居住者の転居作業を進めていきたい。榎堀第4、射場前、射場前第2団地の順番で建て替えを行い、全入居者の転居が終了した後に五本松団地を解体する予定である。今、アンケート調査に取り組んでいるが、多額の費用(13億円以上)と住民の理解が必要なことから、はっきりとした時期を示すことはできないが、計画的に取り組んでいきたい。

問 五本松団地を整備するため、五本松・射場前・榎堀第4団地の統廃合事業という形で取り組みたい。今五本松におられる1000世帯、200名のご理解を得ながら団地の建て替え作業と居住者の転居作業を進めていきたい。榎堀第4、射場前、射場前第2団地の順番で建て替えを行い、全入居者の転居が終了した後に五本松団地を解体する予定である。今、アンケート調査に取り組んでいるが、多額の費用(13億円以上)と住民の理解が必要なことから、はっきりとした時期を示すことはできないが、計画的に取り組んでいきたい。

問 五本松団地を整備するため、五本松・射場前・榎堀第4団地の統廃合事業という形で取り組みたい。今五本松におられる1000世帯、200名のご理解を得ながら団地の建て替え作業と居住者の転居作業を進めていきたい。榎堀第4、射場前、射場前第2団地の順番で建て替えを行い、全入居者の転居が終了した後に五本松団地を解体する予定である。今、アンケート調査に取り組んでいるが、多額の費用(13億円以上)と住民の理解が必要なことから、はっきりとした時期を示すことはできないが、計画的に取り組んでいきたい。



▲東原地区にある五本松団地

教育長 榎山城跡は保存すべき貴重な文化遺産である。この榎山城跡は20万㎡の広い面積で、今後は県教委と範囲設定の協議が必要となる。町教委としては用地購入後に町指定史跡にすることを目指している。最終的には、国指定史跡を目指すことになる。この貴重な財産を地元の活性化と町おこしに利用できればと思っている。

町長 土地開発公社で先行取得していきたい。

一般質問 指宿 秋廣 議員



質問

住所表示の変更の検討はあったか

福祉課長

地域の動向を注視したい

問 町独自の保育料の軽減策を町内外への周知は、どのようにしているか。

保育料軽減の広報強化を

答がない。今後も地域の動向を注視して行きたい。

地域政策室長 平成23年に東植木・西植木の自治公民館の役員と意見交換会をして、住所変更に伴って不動産登記、法人登記をはじめ、あらゆる私的権利において住所の変更手続きが必要となることを説明した。対象となる地域の機運が高まって来ない変更に向けた基本計画の策定に着手できないので、自治公民館の役員の方々に地区住民の意向の取りまとめをお願いしているが、未だに回答がない。今後も地域の動向を注視して行きたい。

問 平成22年12月議会での町長の答弁は「住所表示変更を町内全般で行うと、多くの集落を含むことや区画整理区域の町名が混在する集落、多くの大字があるなどから取り組んでみて、そしていろいろな問題点が整理できる。」としているが、その後の進捗状況はどうなっているか。

問

福祉課長 町のホームページの項目の中に「三股町の保育料は、国の基準額から引き下げを行うために、町の一般財源から6,000万円ほどを投入し、保育料を引き下げる措置を実施しております。」を掲載している。

今年度、子ども子育て支援制度により保育料の見直しを行なうので、更に解り易い方法でホームページに掲載する予定である。

町内に粗大可燃ごみ収集所を

問

山田町に新たに建設されていく清掃工場は、距離的に大変遠くなるので、以前に質問した粗大ごみの行政による収集業務の検討はどうなっているか。

環境水道課長 清掃工場の移転に伴うごみ収集等にかかる経費は、かなりの増額が見込まれ、恒常的な経費として毎年支出していかなければならない。そのため、都市からの情報収集を密に行い、さらに、町職員による検討グループを設け、より効果的で効果的なごみ収集体制を検討している。その中で、粗大ごみの取り扱いについても、何らかの具体的な



▲最終処分場の粗大ごみストックヤード

産業振興課長 いろいろ祭りがあるが、そのほとんどのポスターについては、主催者である観光協会やイベントを主催する実行委員会が作成している。その内容については、写真や絵、文章で分かり易く表現したものであり、内容に関する契約はない。

問

祭り用ポスターの契約はどうなっているか。春祭りのポスターにしゃくなげの森が載っているが、写真を掲載のため町への収入はいくらあるのか。

祭り用ポスターの広告収入は

な対策を講じていく。

一般質問 福永 廣文 議員



質問

6地区(蓼池)方面に役場の出張所を置くべきでは

町長

職員増、ならびに大きな財政負担を伴う支所増設は困難である

地域政策室長 出張所を設置するためには、職場のコンピューターと結ぶ専用回線の整備が必要となるほか、セキュリティ対策を含めた施設整備費、配置職員など多額の運用経費が掛かる。JA都城もだが、民間を始め多くの団体において、職員の配置を伴う施策については、集約化を図り、他のサービス強化していく方向に進んでいる。将来的には、IT技術の進歩やマイナンバー制度の開始により、新しいサービスが提供できるかもしれないが、現状として

町長 同様な提案が21年12月議会の一般質問であり、厳しいと回答したが、現時点でも厳しいと考えている。歳入である地方税は横ばい傾向、地方交付税は削減方向であり、歳出の扶助費、物件費等は増加傾向の中で、職員増そして大きな財政負担を伴う支所増設は困難と考えている。

問 沖水川北側の6地区の高齢者の方々にとって、役場までの移動が困難である。くいまーるの利用も可能であるが、時間の制約があり不便を感じている。6地区に出張所の設置はできないか。

問

は、「くいまーるバス」や「委任状」による代理申請などを利用いただきたいと思う。

要望

国道269号沿いに「道の駅」的な発想で、地元物産販売等を行えば、収支が成り立つのではないかと。道の駅の中に窓口を設置してはどうか。

蓼池、大原地区の道路整備の状況は

問

蓼池大原地区の南北線の道路状況を見ると、未だに昔の農道のまま、道幅も狭く舗装もされていない。白地の住宅地として、早急な整備が必要と思われる。

都市整備課長 大原地区の道路整備については、地権者や土地改良区から幅員が狭く農作業に支障をきたしているとの要望を受け、東西の2路線、総延長942メートルを平成17年より3ヶ年で拡幅工事を実施した。その後、住宅の建築が進んだ東側は23年から25年にかけて舗装を実施した。

質問にある、南北の道路2路線においては、現在の幅員が4メートル



▲整備が望まれる大原地区



未満のため、建築済みのところは中心線より2メートル後退して建築されており、その内3件においては残地を町へ寄付されている。残り農地部分も含めて同じように地権者の無償提供等の協力が得られれば財政状況を踏まえ、整備していきたいと考えている。

第十二回

追跡レポート

あんたどげんだったな?



エコ対策で経費削減を

エコにつながる電力消費量も抑えられコストダウンされるLED照明へ切り替える計画はないか。

平成24年12月定例議会 一般質問

町長答弁

防犯灯については、省エネ維持コストの低減を図る為、LED化へ向けた検討を現在行っている。

こうなりました

平成25年度17自治公民館の防犯灯のLED化事業を実施。
平成26年度全町完成予定。



長田地区へ住宅建築を

長田地区には、過疎化対策協議会が立ち上がっている。住宅建築や物産即売所の要望があるが、今後の方針は。

平成24年6月定例議会 一般質問

町長答弁

公営住宅建築について、県の社会資本総合整備事業で取り組む予定。

こうなりました

平成25年度 12月完成
1戸建て・24坪
場所:三股町大字長田4432番地2



「夏の交通安全県民総ぐるみ運動」が7月11日～7月20日まで実施されました。
7月11日の「都城・三股交通安全駅伝カーパレード」にりんどう保育園の園児の皆さんが、参加されました。日頃から交通安全に気をつけましょう。

議会事務局からのお知らせ
12月議会は、12月8日からの予定
町民の方の多くの議会傍聴をお待ちしています。

議会報告会 第3回

あなたのための三股町議会 「三股町のこれから」を語ろう

開催趣旨

三股町議会は、より信頼される開かれた議会として変革するために、議会基本条例を制定しました。

日ごろ議会がどんな活動をしているのか議会の立場から活動状況を報告するとともに、「議会がどう変わってほしいのか」、「議会に何を要望するのか」など議会に対する批判・意見・提言を町民の皆さんから直接、お聴きします。町民の皆さんと同じ視線に立って議会の監視する働きと積極的な政策形成の活動をしていきたいと考えて実施することとしました。

議会報告会の内容

- 1 開会あいさつ
- 2 議員紹介
- 3 議会報告
 - ① 議会の概要説明
 - ② 指定管理者役員等に議員の兼業を禁止する条例
 - ③ 100条委員会の設置
 - ④ 西小学校校区について
 - ⑤ 五本松団地のこれから

総務厚生常任委員長説明

7月22日臨時議会において「三股町公の施設の指定管理者における三股町議会議員の兼業に関する条例」を全会一致で可決致しました。この条例は、指定管理者の事業者・役員等に議

員はつくことは出来ないとするものです。

また、同日100条委員会が設置されました。委員は6名、委員長・指宿議員、副委員長・重久議員です。100条とは、地方自治法第100条に規定されている調査権のことです。今回の100条の名称は「やまびこ会調査特別委員会」です。

特別養護老人ホームの指定管理を受けているため、調査の対象となりました。この調査の最終報告は12月議会で行います。

建設文教常任委員長説明

三股小と西小学校の区域割りの件で、早期の実現を訴えている西小は平成元年に開校し、当時の生徒数は635人である。三股小は668人となり、均衡ある分離をされていた。現在は三股小419人で、西小755人となっている。均衡の差が大きいので、今後区域割りは早急の課題であります。

また、五本松団地の今後については、一般質問等でも有効利用を訴えています。敷地面積は21,586㎡、建設年度、昭和46年48戸、昭和47年86戸、全戸134戸である。現在は、88戸の入居者である。皆様のご意見を伺いたい。

広報編集常任委員長説明

広報誌の「こんにちはは議会です」を発行している。平成7年10月より発行し、現在77号を作成中です。年4回発行し、7,500部を町内全域に配付しています。議員4名と事務局1名

の5名で編集。予算は約122万円。皆様に読みやすく、親しまれる広報誌作りに努めて参ります。

意見交換

Q 三股小と西小の校区見直しについて委員会が設置されている。その経過をききたい。

A 校区割の委員が12名で審議している。今回3回委員会を実施している。ラインの見直しと調整区域の見直しである。来年1月に最終答申をする。

Q 議員がやまびこ会の理事になぜなったのか、経緯を聞きたい。

A 県に聞いたうえで理事に就いたが、自発的に今月中に辞職した。

Q 100条の中間報告を町民にも知らせてほしい。

A 12月に最終報告されるので、その時に広報します。



お隣さん、元気

つながりを知る

大野 自治公民館



兒玉 辰教 館長



大野自治公民館は… ボランティア清掃活動

ようこそ、美しい椎八重公園のある大野地区へ
長田米や、山菜・ヤマメの山幸を味わいながら一
緒に語り合う地域の仲間の一員になりませんか。



作業前のラジオ体操



作業も終わり さっぱりして

大八重 自治公民館



日高 輝幸 館長



大八重自治公民館は… 清掃活動

大八重自治公民館は、町道の草払いもやっています。
春はしゃくなげ・平戸つつじ、夏はホタル、秋
は紅葉、冬は星がきれいです。



敬老会



ヤマメのお造りが

自治公民館を中心に、子ども会、壮年会等、きっと活躍できる場所があります。隣近所の方々との親睦で、安心できる住みよい街にしましょう。

自治公民館加入案内
三股町・三股町自治公民館連絡協議会
電話 52-1111 内線 181



編集後記

町長選が行なわれ、木佐貫町長の無投票当選という本町において初めての結果で再選された。

7月22日臨時議会が開催され、三股町の施設の指定管理者における町議会議員の兼業禁止に関する条例が可決されたそのあと、やまびこ会調査特別委員会の設置が可決された。9月定例議会の最終日には、議長不信任の動議が可決されるなど、慌ただしい動きがあった。

10月29日に元気の杜で(第3回)の議会報告会を実施した。出席者の人数が今ひとつだったので、今後報告の内容を検討すべきではないかと思った。

広報委員会においては、一致団結、9月の議会の報告をまとめができ、お互いに充実した編集ができた。

発行責任者

議長 山中 則夫

議会広報編集常任委員会

委員長

堀内 義郎

副委員長

池田 克子

委員

佐澤 靖彦

委員

福永 廣文

